

テーマ

大量のデータから未来を予測する

適用分野

テキストアナリティクス、
データサイエンス



研究名称

AIによる景況感指数のナウキャスト

氏名所属

関和広 教授
知能情報学部 知能情報学科

内容

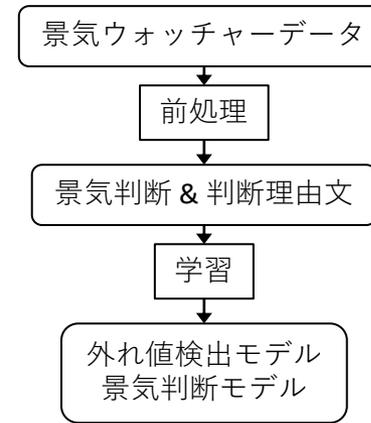
●特徴

ディープラーニングを用いた景況感予測モデルによって、新聞記事やソーシャルメディアなどのテキスト情報から高精度に景況感指数の足元予測を行うことができる。また、特定のイベントがいつどの程度景気に影響を与えたのかを分析することができる。

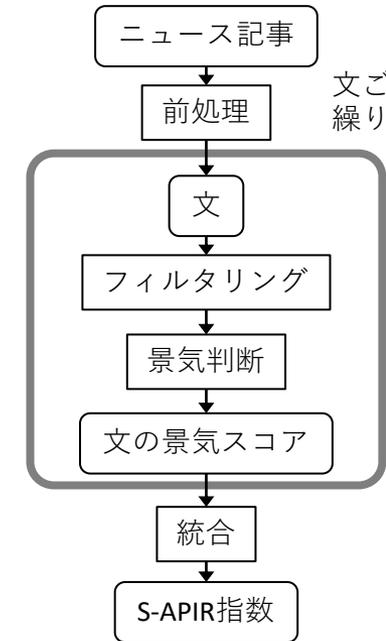
●研究内容

従来の景況感指数は、企業や経営者を対象にした全国的・大規模なアンケート調査によって算出されている。一方、POSデータやGPSデータ、SNSデータなどのいわゆるオルタナティブデータが利用可能になってきたことから、これらを活用したAI技術による経済指標の予測が活発に行われている。本研究は、近年の自然言語処理技術の急速な発展を牽引する自己注意機構を景気スコアの予測に用い、新聞記事などから高精度に景況感指数の足元予測を行う。また、予測した景気スコアを単語単位に分解して再集計することで、任意の語で表されるイベント（例：コロナ）がいつ、どの程度、景気に影響を与えたのかを時系列に沿って分析する。

モデルの学習



景況感指数の予測



研究室URL <https://www.konan-u.ac.jp/hp/seki/lab/>

キーワード

自然言語処理, ディープラーニング, 感情分析, 時系列分析

連携方法

講演 研修 研究相談 学術調査 コメント 共同研究